

第 1 学年音楽科学習指導案

飯能市立南高麗中学校 教諭 岩村英美

1 題材名 「いろいろな音を見つけて、情景をリズム音楽で表現しよう」

2 題材について

(1) 生徒の実態について

本学級の生徒は、ほぼ全員の生徒が、小学校の時から単学級で9年間クラス替えもないため、気どころのしれた仲である。クラス全体の雰囲気は、明るく協力し合う仲間関係ができている。音楽の授業では、どの領域においても積極的に声を出す生徒が多く、例え苦手なことでも何とかできるようになろうと意欲的に取り組む生徒がほとんどである。

しかし、個々に見ると、感じたことを音や言葉で表現することに難しさを感じたり、自分の考えを深めたり、物事を順序立てて考えたりすることが容易ではないようである。

本題材では、自分が表現したいイメージに合う音素材を納得するまで探し、音の強弱を工夫していく過程を通して、自分らしさのある個性豊かな作品となるように指導したい。

(2) 題材設定の意図

本題材は学習指導要領との関連 A 表現 (3) 創作の事項イ「表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。」に即して進めていく。本題材では、創作活動の源となるイメージを持たせ、そのイメージと音楽を形づくっている要素とをかかわらせながら楽器を選び、リズム創作の工夫をさせたい。

3 題材の目標

(1) リズムの特徴を感じ取り、強弱や速度などの音楽づくりに主体的に取り組む。

「音楽への関心・意欲・態度」

(2) 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、表現を工夫している。

「音楽表現の創意工夫」

(3) 表現したいイメージをもち、構成を工夫してリズムを作るための思いや意図をもつ。

「音楽表現の創意工夫」

(4) 自分のイメージに合った音楽を作るために必要な技能を身に付けている。「音楽表現の技能」

4 教材について

「下座音楽」 (中学生の音楽 2・3 上②観賞用 CD)

歌舞伎の演出において、舞台下手の黒御簾の中で演奏される効果音楽である下座音楽の CD を聴き、物や情景の様子を打楽器を使って表現することを知る。また、速度やリズムの工夫次第で、表現が変化していくことを感じる。

「効果音ベスト」 (KING RECORDS)

情景を表現するために、劇や映画などの中で流れる効果音を聴くことで、臨場感のある音を感じ取る。

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連及び具体的な学習活動

指導事項	創作イ 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。
〔共通事項〕ア イ	リズム 速度 強弱 音色 (特 に な し)
具体的な 学習活動	自分が表したい情景を表現するために、楽器の特徴を生かしながらいろいろな音を見つけ、リズム音楽をつくり発表する。

6 評価規準（題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準）

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
題材 の 評価 規準	○リズムの特徴を感じ取り、強弱や速度など音楽づくりに主体的に取り組もうとしている。	①音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、表現を工夫している。 ②表現したいイメージをもち、構成を工夫してリズムを作るための思いや意図をもっている。	○イメージに合う音楽をつくり出すため、必要な技能を身に付けている。
1時	○		
2時		①	○
3時	○	②	

7 指導と評価の計画（全3時間） ☆具体的評価規準（評価方法・手だて）

時	○学習内容 ・主な学習活動	・指導上の留意点
1	○歌舞伎の下座音楽を知る。 ・下座音楽の説明を聴き、関心を持つ。 ・下座音楽 CD を鑑賞し、使用している楽器の音色や特徴を感じ取る。 ○効果音の特徴について知る。 ・効果音 CD を聴き、どんな楽器で演奏されているかを考える。 ○表現したいイメージを考える。 ・身近な出来事を文章にし、それらを音で表現するための、イメージ図を作成する。	・様々な楽器で演奏される芝居の情景描写や効果音を聴き、臨場感を表す音を感じ取らせる。 ・記譜の方法は五線譜に限らず、イメージ譜や、言葉で表現するなど工夫させる。 ☆リズムの特徴を感じ取り、強弱や速度など音楽づくりに主体的に取り組もうとしている。 (ア 活動観察・プリント)
2	○模範演奏を聴く。 ・教師が見本として作成した、イメージ図の演奏を聴く。 ○自分が作成したイメージ図に合う楽器を探し、工夫を重ねながら演奏する。 楽器の特徴を生かしてリズムや強弱を工夫していく。	・場面変化前と、変化後の音の強弱や速度の違いがはっきりと現れるような、イメージ図に合った演奏をする。 ☆音楽を形づくっている要素（リズム・構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り表現を工夫している。 (イ① 活動観察) ☆イメージに合う音楽をつくり出すため、必
本時		

		要な技能を身に付けている。 (ウ 活動観察) ・前時で決めたリズムから、さらに工夫するなど変更してもよい
3	○作品発表をする。 ・作成までに工夫した点や演奏の留意点を述べてから発表する。 ○振り返りをワークシートに書く。	☆リズムの特徴を感じ取り、強弱や速度など音楽づくりに主体的に取り組もうとしている。 (ア 活動観察) ☆表現したいイメージをもち、構成を工夫してリズムを作るための思いや意図をもっている。 (イ② 活動観察)

8 本時の学習指導 (2 / 3)

(1) 本時の目標

- ①音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、表現を工夫する。
- ②イメージに合う音楽をつくり出すため、必要な技能を身に付ける。

(2) 展開

○学習内容 ・主な学習活動	●指導上の留意点 ☆具体の評価規準(評価方法・手だて)
1 導入 (5分) ・今日の目標と流れを確認する。 【目標】 「情景をリズム音楽で表現しよう」	●前時に作成したプリントを見直し、自分の表現したい情景のリズムや強弱などを思い起こし、イメージさせる。
2 展開 (40分) ・模範演奏を聴く。 ・イメージ図に合う楽器を探し決める。 (1つないしは2つ) 楽器の特徴を生かしてリズムや強弱をさらに工夫する。 ※前時で決めたリズムを工夫して変えてもよい ・演奏時間の目安(10秒)をはかり、実際に演奏する。 (使いたい楽器が3人重なった場合…3人分の演奏時間をとる。) ・ペア学習をする。 中間発表 ①2人1組になり、一人ずつ演奏をする。 ②お互いに感想を伝え合う。	●教師が見本として作ったリズムを演奏する。 ●あらかじめ、用意しておいた打楽器の中から選ばせるようにする。 ●イメージに合う音楽を作るための技能等のアドバイスをしながら、机間指導をする。 ●演奏したい楽器が重なった人は、交互に練習をする。 ☆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ表現を工夫している。 (イ① 活動観察 ワークシート) ※ B と判断する具体的な状況…各自の描いたイメージ図を音に表すことに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 ※ A と判断する具体的な状況…様々な楽器の音に興味をもって音色の違いを確認したり、音やリズムを見つけるために鳴らし方にこだわるなど工夫をしている。 ● C と判断する生徒には、各自の描いたイメージ図に合う、楽器選択ができるよう助言をしたり、演奏方法(鳴らし方や叩き方)等のアドバイスをする。 ☆イメージに合う音楽をつくり出すため、必要な技能を

	身につけて簡単なリズムをつくっている。(ウ 活動観察) ※ B と判断する具体的な状況…各自の描いたイメージ図に合う楽器を選び、リズムを工夫しようとしている。 ※ A と判断する具体的な状況…音の強弱や速度を調節し、イメージ図に合った演奏をしている。 ● C と判断する生徒には、イメージ図に近い演奏ができるよう、いくつかの奏法を提示し、助言をする。 ●マレット選びなどにも留意する。マリンバ、シロフォンなどでもいい。 ●1つの楽器では、表現したいリズムを生かしきれない場合、補助楽器を入れるのもいい。
3 まとめ (5分) ・次回の発表に向けて工夫点をワークシートに記入しておく。	・ワークシートに工夫した点や、演奏にあたっての留意点などをまとめる。(「どのような演奏の仕方、どのような雰囲気の出したい」や「場面ごとの演奏変化ポイント」などを書き記す。)

南高麗中にある打楽器

ボンゴ・アゴゴベル・カバサ・ウッドブロック・マラカス・ハンド木魚・ツリーチャイム・タンバリン・大中小ブロック・トーンチャイム・ドラムセット・カウベル・大太鼓・和太鼓・締太鼓

↑

☆この中からいくつかを教師が絞った上で、生徒に提示し選ばせる。

いろいろな音を見つけて、情景をリズムで表そう♪

氏名 ()

※このあたりで場面が変わる！という部分を見つけ、場面の様子を書こう。

場面の变化	始 め	中 間	終わ り
①表現したい様子			
②リズムや速さ			
③強 弱			
④こんな（音の鳴る）楽器が合っている			

(例)

始 め	中 間	終わ り
冷蔵庫にあるプリンをととても楽しみにしてた	ない！ ガーン…	ウォー！
ウキウキワクワクはずんでいる	一瞬止まる、ゆっくり	→ドーン！
リズムをくり返す	悲 →	食べたの誰?!
大きく楽しそうに！	止まる、小さく鳴ら →だんだん大きく	ドーン！ fff
強くチャッチャ 強くチャッチャ		
カバサでリズムカルに、 たまに鈴をシャラン！	（楽器なし）トーンチャムを楽 →ティンパニで	しように鳴らす fff

☆工夫したところ

♪演奏を振り返って

♪ リズム創作 ♪ ①から④の手順にそってやってみよう

①表現したい様子 …まず、どんな様子をリズムにしたいか考えよう。 ※場面の变化をつけられる人はやってみよう（⇒をつけて変化の様子を書いてみよう）

②リズムや速さ …どんなリズムにすれば、①の様子に合っているかな？ 例）タタタタ タンタン ドーン 速く など。（音符や休符で書いてもよい）

③強弱 …音の大きさはどうか？ 例）とても大きい すごく小さい 中くらいの大きさ だんだん大きく 最初大きく、すぐ小さくなる

④こんな（音の鳴る）楽器が合っている …どの楽器がふさわしいかな？ 例）太鼓 カウベル 木琴 鉄琴 ボンゴ リコーダー

